
愛媛資料ネット会報 第13号 2008年10月14日

編集・発行 芸予地震被災資料救出ネットワーク愛媛（愛媛資料ネット）
〒790-8577 松山市文京町3 愛媛大学法文学部寺内研究室気付
TEL 089-927-9317 Eメール terauchi@LL.chime-u.ac.jp 郵便振替 01690-8-5497

満願寺で資料整理

7月13日に、愛媛大学の教員・学生、高校教員など23名が参加して、毎年恒例となっている旧朝倉村満願寺の資料調査を行いました。今年は早くに梅雨が明けたため、真夏の暑さの中で全員大汗をかきながら和本や古文書の目録作成に取り組みました。満願寺資料整理は今年で8年目になりますが、和本は整理を終え、目録の確認作業に入っています。古文書類も最終段階を迎えつつあります。



「満願寺資料整理」

歴史懇話会を開催

6月14日に、第6回歴史懇話会を愛媛大学法文学部大会議室で開催しました。歴史懇話会は、実際に資料整理作業を体験し、その方法を身につけることを通じて、地域の歴史資料の整理・保存活動を進めていこうとするもので、今回が6回目になります。現在は旧中山町で見つかった「玉井家文書」の整理作業を行いながら、資料整理の基本を学んでいます。松山市を中心に各地から毎回たくさんの方が参加され、和やかな雰囲気の中で資料の整理を行っています。今後も継続して実施する予定ですので、たくさんの方の参加をお待ちしております。



「第6回歴史懇話会」

愛媛資料ネット総会を開催

本年度の愛媛資料ネット総会が6月14日に愛媛大学法文学部大会議室で開催されました。総会では、昨年度の活動、会計報告が了承された後、今年度の活動方針として、従来からの資料調査・整理活動を継続すること、今年度も歴史懇話会を継続して開催すること、地震等の災害発生に対応できるよう普段か

ら準備をしておくことなどが確認されました。また、各地の資料の保存方法・場所等について意見が交わされました。愛媛資料ネットでは総会で出されたこうした意見をできる限り今年度の活動の中で生かすよう努力したいと思えます。なお、総会に先立ち、昨年度愛媛資料ネットに寄贈された資料や四国遍路関係資料を展示しました。

会計報告(2007・4・1～2008・3・31)

収入	募 金	14,003
	利 子	67
	前年度繰越金	372,163
	計	386,233
支出	発送費	14,580
	交通費	6,000
	次年度繰越金	365,653
	計	386,233

本年度の委員は以下の通りです。

代表：武智利博、内田九州男

委員：川岡勉、川東崋弘、白石通弘、徳永高志、永井紀之、西尾和美、松原弘宣、村上正郎、森正史、森正康、矢野達雄

事務局長：寺内浩

芸予地震被災資料救出ネットワーク愛媛 申し合わせ事項

1、(目的)

- ①災害発生時に文化財・歴史資料の救出保全活動を行うこと。
- ②県内にある文化財・歴史資料の調査を行い、それらの防災及び地域史研究への利用に資すること。

2、(会員)

本会の趣旨に賛同する者は会員になることができる。

3、(役員)

役員として、代表・委員・事務局長を置く。

代表は本会を代表して会の運営にあたる。ただし、重要な案件が生じた時は委員会あるいは総会に諮るものとする。

4、(会計)

本会の経費は、当面は募金によるものとし、会費は徴収しない。

調査・整理活動、その他

◆6月14日に、愛媛大学で愛媛資料ネットの総会を開催しました。それに先立ち、第6回歴史懇話会を開催しました。

◆7月1日に、前回お知らせした「公文書管理の在り方等に関する有識者会議」から中間報告「時を貫く記録としての公文書管理のあり方～今、国家事業として取り組む～」が出されました。内容は中央省庁の公文書管理の在り方が中心ですが、地方についても「地方分権改革による地方への権限移譲等の動向も踏まえ、地方公文書館をはじめとする地方公共団体における歴史的な公文書の保存・利用の充実のため、どのような方策を講ずべきか」と述べられています。なお、この中間報告の全文は国立公文書館のホームページで見ることができます。

◆今年度の愛媛資料ネットの活動には、愛媛大学地域創成研究センターの研究活動補助費及び愛媛大学法文学部学部長裁量経費が使用されています。

愛媛資料ネット活動日誌

- ・ 6月14日
愛媛大学で第6回歴史懇話会（17名）
愛媛大学で愛媛資料ネットの総会開催（17名）
- ・ 7月13日
旧朝倉村満願寺で資料整理（23名）